

2015年(平成27年) 山のトイレを考える会 活動報告

山のトイレを考える会

1. フォーラム案内、ニュースレターを送付 (2015年1月15日)

第16回山のトイレフォーラム案内とNO.16ニュースレターを会員及び関連団体へ約150通送付しました。

2. 美瑛富士トイレ管理連絡会の設立 (2015年3月14日)

北海道の山岳8団体と山のトイレを考える会とで1月15日に札幌市エルプラザで設立準備会を開催。3月15日に設立総会を開催、承認されました。美瑛富士避難小屋に携帯トイレブースを設置して、その点検パトロール(維持管理)を1~2週間に1回のペースで分担して実施する組織です。

2. 平成27年度定期総会の開催 (2015年3月14日)

第16回フォーラム開催日に定期総会を開催しました。平成26年度事業報告、会計報告、平成27年度事業計画案、予算案について承認していただきました。

3. 第16回山のトイレフォーラムを開催 (2015年3月14日)

第16回山のトイレフォーラムが道立道民活動センター(かでの2・7)で開催され、54名の参加者を迎えて行われました。テーマは「美瑛富士トイレ問題〜ついに山は動いた」でした。

今年は美瑛富士に仮設携帯トイレブースを設置して携帯トイレ利用促進地域として試行実施します。この初めての取り組み等について、道内外の事例から考えディスカッションしました。

(報告1) 美瑛富士携帯トイレ導入の経緯と今後の進め方

山のトイレを考える会副代表 小枝正人

(報告2) 美瑛富士携帯トイレ導入の試行実施に向けて

環境省東川自然保護官事務所・岸田春香さん、道央地区勤労者山岳連盟理事長・沼田祐司さん、美瑛山岳会理事長・内藤美佐雄さん

(報告3) 早池峰が携帯トイレ専用の山になるまで

早池峰にゴミは似合わない実行委員会代表 菅沼賢治さん

(報告4) 利尻山携帯トイレ取り組み状況 利尻富士産業建設課 八森大介さん

(報告5) アポイ岳携帯トイレの取り組み状況 様似町商工観光課 坂下志朗さん

(報告6) 黒岳バイオトイレの管理状況 上川総合振興局環境生活課 端場強実さん

(報告7) 羊蹄山避難小屋の土壌処理方式トイレ 山のトイレを考える会 仲俣善雄

※第16回フォーラムの議事要旨はホームページに掲載されています。

4. 美瑛富士携帯トイレPRチラシとマナーガイド印刷（2015年6月）

美瑛富士携帯トイレ導入PRチラシを5,000部、マナーガイドを3,000部印刷しました。

5. 北海道の山開きでトイレマナー啓発（2015年6月）

十勝岳の山開き（6月21日）と大雪山山開き（6月28日）の主催者宛にマナー袋を送付して、参加者に配布していただきました。

6. 美瑛富士携帯トイレ導入と点検パトロールを実施（2015年6月18日～9月27日）

次のとおり仮設携帯トイレブース及び回収ボックスの設置、山岳団体による点検パトロールを実施しました。なお、十勝岳温泉登山口にも上富良野町の協力を得て、回収ボックスを設置、多くの登山者に利用されました。

- ・6月18日（木）…白金温泉観光センターに携帯トイレ回収ボックスの設置
（山のトイレを考える会・環境省・美瑛町・びえい白金温泉観光組合）
- ・6月19日（金）…十勝岳温泉登山口に携帯トイレ回収ボックスの設置
（山のトイレを考える会・環境省・上富良野町）
- ・6月28日（日）…仮設携帯トイレブース設置：12名
（環境省・美瑛山岳会・山のトイレを考える会等）
- ・7月11日（土）…白老山岳会：9名
- ・7月20日（月）…日本山岳会北海道支部：5名
- ・7月25日（土）…札幌山岳連盟：7名
- ・8月 8日（土）…北海道山岳連盟：11名
- ・8月23日（日）…道北地区勤労者山岳連盟：10名
- ・8月29日（土）…大雪山国立公園パークボランティア連絡会：4名
- ・9月 6日（日）…道央地区勤労者山岳連盟：12名
- ・9月15日（火）…北海道山岳ガイド協会：3名
- ・9月27日（日）…仮設携帯トイレブース撤収：9名
（環境省・美瑛山岳会・山のトイレを考える会等） のべ82名

7. 山のトイレデー案内等を送付（2015年7月7日）

「2015山のトイレデー案内」と「美瑛富士携帯トイレ導入案内」「知床登山マナーチラシ」を当会の会員、山岳団体、行政等に358通送付しました。

8. 山の日イベントでパネル展示（2015年8月9日、8月15日）

環境省北海道地方環境事務所主催の「東川・山の日イベント」が東川町地域交流セン

ターで、また「十勝・山の日イベント」でも当会の活動を紹介するパネル展示を行いました。

9. 日本トイレ大賞受賞

内閣官房で今年から創設された日本トイレ大賞で、当会の活動が環境大臣賞を受賞しました。全国から378件の応募があり28件の受賞です。

2015年9月4日の授賞式には残念ながら出席できませんでしたが、地道につづけてきた活動が評価されたのだと思います。これもひとえに会員の皆様やご協力いただいている個人・団体のみなさまのおかげです。

10. 2015全道一斉山のトイレデー実施（2015年9月6日）

北海道の38箇所の登山口で、山のトイレマナー袋やマナーガイドを配布、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を行いました。今回で15回目です。

参加者は90名。トイレマップ401部、マナーガイド1,131部、マナーカード39枚、マナー袋1,670袋を配布することができました。

今回は、特にトイレ紙の持ち帰りを登山者に呼びかけました。皆さん好意的に啓発ツールを受け取ってくれました。携帯トイレを持っている人、ティッシュは持ち帰っているとの登山者も多く、地道なマナー向上の取り組みが実を結んできた気がします。

11. 黒岳バイオトイレのオガクズ掻き出し作業に参加（2015年10月1日）

黒岳のバイオトイレのオガクズ掻き出し作業に小枝と仲俣が参加。尿尿のへり搬出は毎年、別な日に行うのですが、今回はオガクズの掻き出し作業と同じ日に実施しました。

12. 北海道地方環境事務所主催の会議に出席（2015年6月～12月）

環境省北海道地方環境事務所主催の「大雪山国立公園東大雪地域情報交換会」が6月26日に帯広市で開催され小枝副代表が出席。また、「大雪山国立公園表大雪地域情報交換会」が6月8日に美瑛町四季の情報館で、12月21日は上川総合振興局で開催され、愛甲事務局長が出席しました。

このような山の現状をよく知っている関係者が一堂に会する会議に参加することは、北海道の最新の情報が入手できるとともに、相互にコミュニケーションが図られ、信頼関係も醸成されることから、施策を実施する上で貴重な提案や協力を得ることができます。これからもこのような情報交換の場に積極的に参加したいと思っています。

以上